

令和 3 年度決算に係る

定 期 監 査  
決 算 審 査 資 料

令和 4 年 7 月

地域づくり推進部 県民参画協働課



## 目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	職員の定員、現員調べ	1 頁
4	役付職員の調べ	1 頁
5	主な事業に関する調べ	2 頁
6	決算資料（総括表）	9 頁
7	事業別実施状況調べ	10 頁
8	予備費の充用調べ	12 頁
9	現金取扱状況	12 頁
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
10	財産に関する調べ	12 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
11	財産の貸付け及び使用許可調べ	13 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）	
12	借受不動産明細調べ	13 頁
13	職員駐車場の管理状況調べ	13 頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
14	寄附物件の受納状況調べ	13 頁
15	備品の処分状況調べ	13 頁
16	貸付金等状況調べ	13 頁
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
○	意見、要望等	13 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

指 摘 事 項	措 置 状 況 等
令和2年度とっとり若者広聴レンジャーとしての広聴活動等に係る委託契約について、支出負担行為の事務手続が遅延していた。	所属内に今回の監査の指摘事項を伝達し、同様の事態が発生しないように周知するとともに、上司が進捗管理及び必要な声掛けを行い、適切な事務処理を徹底することを所属内で確認した。 また、年度末から年度当初に支出負担行為を行わなければならない業務を一覧にとりまとめて所属内の電子会議室で共有し、進捗状況の確認や四半期毎など適宜一覧の見直しを行ない、事務の遅延を防止した。

(2) 監査意見

該当なし

(3) 決算審査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備 考
	4.4.1 現在	3.4.1 現在	4.4.1 現在	3.4.1 現在	4.4.1 現在	3.4.1 現在	4.4.1 現在	3.4.1 現在	
定 員	15	18					15	18	
現 員	(3) 15	(3) 18	( )	( )	( )	( )	(3) 15	(3) 18	R3:派遣職員3人 (派遣元:ナレッジサポート)
過不足(Δ)	0	0					0	0	
臨 時 的 任 用 職 員	0	0					0	0	
会 計 年 度 任 用 職 員	2	2					2	2	一般事務1人 事務補助1人

4 役付職員の調べ

(令和4年 7月 1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間		備 考
		年	月	
課長	頼田 慎	1	3	
室長	澤米 渉	3	0	とっとり元気戦略課から引続き 4年3月
課長補佐	林 智広	2	3	
課長補佐	高橋 和子	1	3	
課長補佐	古川 麻祐子	1	3	
課長補佐	栗本 明子	0	3	
課長補佐	片山 博紀	0	3	
課長補佐	金田 健志	0	3	

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳																									
		国庫支出金	起債	その他	一般財源																						
県民参画推進事業	6,019	0	0	0	6,019																						
将来ビジョン	—																										
令和新時代創生戦略	SDGsゴール（17 パートナーシップで目標を達成しよう）																										
政策項目	—																										
<p>1 目的・概要</p> <p>地方自治の原点として制定した県民参画基本条例（平成25年）の基本理念に基づき、多様化する県民の意見を県政に取り入れることで、県民と県が連携し、協力する関係を築き、鳥取県ならではの県民の参加と協働による民主的で公正な県政を実現する。</p> <p>2 事業の内容、実施状況</p> <p>(1) 県民の声推進費</p> <p>県政に対する提言、要望、苦情等を広く県民から募集し、行政への県民参画を推進するとともに、県民からの提案、意見を積極的に施策に反映した。</p> <p>【令和3年度の受付件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>受付件数</th> <th>意見数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,542件</td> <td>4,612件（うち新型コロナウイルス感染症に関するもの2,760件）</td> </tr> <tr> <td>（前年度2,717件）</td> <td>（前年度4,917件）（うち新型コロナウイルス感染症に関するもの2,747件）</td> </tr> </tbody> </table> <p>※受付件数：電話、電子メール、郵便等で意見、提言等を受け付けた件数。          ※意見数：受け付けた意見、提言等の数。1件の受付で、複数の意見、提言等が寄せられる場合があるため、受付件数とは一致しない。</p> <p>(2) 広聴実施事業</p> <p>ア パブリックコメント・県政参画電子アンケート等</p> <p>県の主要施策や重要な条例等の立案にあたり、趣旨や内容を広く県民に公表して意見を求めるほか、登録会員に対してインターネットを利用したアンケート調査等を実施して県民の意向を速やかに把握するとともに、県民の県政参画を促進した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>パブリックコメント</th> <th>電子アンケート</th> <th>県民意識調査</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施件数</td> <td>15件（前年度30件）</td> <td>13件（前年度21件）</td> <td>1件（前年度1件）</td> </tr> <tr> <td>意見等状況</td> <td>意見件数 1,926件 （前年度 2,452件）</td> <td>平均回答率65.2% （前年度63.7%）</td> <td>回収率 54.8% （1,644/3,000）</td> </tr> <tr> <td>主な実施テーマ</td> <td>・鳥取県斜面の安全の確保に関する条例案</td> <td>・登下校中の児童（生徒）の安全</td> <td>・重点施策への関心・認識：鳥取県情報技術活用推進計画に基づく取組への関心度</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 出前説明会</p> <p>県が重点的に取り組んでいる事業や県民の関心が高い課題などについて、県職員が県民の集会等に出向いて説明し、県民の県政に対する理解の促進を図るとともに、県民の生の声を聴いて施策に反映させた。（実施テーマ数：268、94回開催）</p> <p>(3) 県政モニタリング事業</p> <p>「星空への関心を高める取組について」及び「『課題解決型』図書館の取組に対する評価及び今後取り組むべき社会的課題」のテーマについて県政モニターからの「県民目線・県民感覚」による意見・提案等を、担当所属において次年度の予算要求や事業実施に反映させた。</p> <p>(4) 若者広聴レンジャー事業</p> <p>若者自らが広聴活動を通じ、地域の方々の意見を聞き取り、議論することで、県への政策提案をする等、若者の県政参画及び幅広い層への広聴の促進を図った。          （メンバー：2グループ（鳥取東高校生、鳥取大学生））</p> <p>3 事業の成果（改善状況）・課題等</p> <p>(1) 事業目標</p> <p>広聴機能を充実し、県民の参画による県政を推進する。</p>						受付件数	意見数	2,542件	4,612件（うち新型コロナウイルス感染症に関するもの2,760件）	（前年度2,717件）	（前年度4,917件）（うち新型コロナウイルス感染症に関するもの2,747件）	項目	パブリックコメント	電子アンケート	県民意識調査	実施件数	15件（前年度30件）	13件（前年度21件）	1件（前年度1件）	意見等状況	意見件数 1,926件 （前年度 2,452件）	平均回答率65.2% （前年度63.7%）	回収率 54.8% （1,644/3,000）	主な実施テーマ	・鳥取県斜面の安全の確保に関する条例案	・登下校中の児童（生徒）の安全	・重点施策への関心・認識：鳥取県情報技術活用推進計画に基づく取組への関心度
受付件数	意見数																										
2,542件	4,612件（うち新型コロナウイルス感染症に関するもの2,760件）																										
（前年度2,717件）	（前年度4,917件）（うち新型コロナウイルス感染症に関するもの2,747件）																										
項目	パブリックコメント	電子アンケート	県民意識調査																								
実施件数	15件（前年度30件）	13件（前年度21件）	1件（前年度1件）																								
意見等状況	意見件数 1,926件 （前年度 2,452件）	平均回答率65.2% （前年度63.7%）	回収率 54.8% （1,644/3,000）																								
主な実施テーマ	・鳥取県斜面の安全の確保に関する条例案	・登下校中の児童（生徒）の安全	・重点施策への関心・認識：鳥取県情報技術活用推進計画に基づく取組への関心度																								

## (2) 成果

### ア 県民の声推進費

令和3年度に寄せられた意見、提言等は令和4年度当初予算及び令和3年度補正予算で18事業に反映した。また、予算以外に36件の施策が改善された。

〔予算への反映(例)〕

- ・子育て王国未来応援事業(子育て応援パスポートについてスマホで見せられるようアプリ化できないかとの意見を受け、子育て中の方々の利便性向上のため、アプリ化を行う。あわせてアプリから子育て情報の発信を行う等、本県の子育て環境の更なる向上に向けた取組を推進することとした。)

### イ 広聴実施事業

#### (ア) パブリックコメント・県政参画電子アンケート等

パブリックコメントでいただいた意見のうち、111件を政策等に反映した。

(内訳: 反映した=111、既に盛り込み済=430、今後の課題=138、対応できない=316、その他=917)

#### (イ) 出前説明会

重点事業や県民の関心が高い課題について直接説明するとともに、参加者と意見を交換し、県民の県政参画を推進することができた。

### ウ 県政モニタリング事業

#### (ア) テーマ「星空への関心を高める取組について」(モニター5名)

〔提案〕ボーイスカウトなどの団体と連携してイベント等に星空観測や学習の時間を組み込むことにより、子どものうちから鳥取の星空に触れる機会を増やす。

〔対応〕県の天体望遠鏡の貸出について働きかけを行うなど、ボーイスカウト・ガールスカウト連盟等と連携する。

#### (イ) テーマ「課題解決型」図書館の取組に対する評価及び今後取り組むべき社会的課題」

(モニター5名)

〔提案〕対面で議論できる場所の整備など、交流の場・アイデア創造拠点としての機能を図る。

〔対応〕新型コロナウイルスの感染状況を見ながら県立図書館小研修室の開放を試行的に実施。

### エ 若者広聴レンジャー事業

#### (ア) DION(鳥取東高校の生徒4名)

〔提案〕高校生が鳥取の魅力进行思考・広聴・体験して、鳥取県のリアルな情報をSNSで主体的に発信する部活を高校に新設し、鳥取県への関心を高める。

〔対応〕鳥取東高校での愛好会立ち上げ状況を見ながら必要な協力を行っていく。

#### (イ) チームしろにゃん(鳥取大学の学生4名)

〔提案〕コロナ禍でICTの重要性が増す中、学生と行政が高齢者向けのスマホ活用講座等を定期的に開催する。

〔対応〕県老人クラブ連合会・大学生と連携して市町村単位でのスマホ研修会を実施。

## (3) 課題

### ア 県民の声推進費

県民から各所属に直接意見が寄せられ、対応したものの中には、県民の声として登録し、県の対応方針・結果を県民に広くお知らせすべき意見もあるため、各所属に対して、県民から寄せられる意見の適切な取り扱いについて周知徹底していく必要がある。

### イ 広聴実施事業

#### (ア) パブリックコメント・県政参画電子アンケート等

統計的な信頼度を維持するために必要な電子アンケート会員の確保や県民意識調査の回収率の向上に引き続き取り組み、より多くの県政参画を図る必要がある。

#### (イ) 出前説明会

県施策を直接説明して当該施策への理解を深めていただくとともに、オンラインも積極的に活用しながら、建設的な意見交換を行う中で、新たな施策の展開につながる事業にしていく必要がある。

### ウ 県政モニタリング事業

改善提案を効果的に事業反映につなげられるよう、県政モニターに検討していただく項目をある程度絞り込み、テーマに関しより密度の高い議論や提案が得られるようにする。

### エ 若者広聴レンジャー事業

各レンジャーが、多様な県民の意見を聴いて課題をしっかりと掘り下げることができるよう、広聴活動を充実させる必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
令和新時代創造県民運動推進事業	16,250	0	0	4,693	11,557
将来ビジョン	2 つなげる 力をつなげ、結集して、持続可能で、魅力あふれる地域を創る (1) 県民、NPO、企業、市町村等との協働により持続可能な地域が実現				
令和新時代創生戦略	大項目：2 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む 鳥取＋住む 中項目：(2) 人財とっとり 小項目：③女性、高齢者、障がい者など多様な主体が輝く地域づくり SDGsゴール (17 パートナーシップで目標を達成しよう)				
政策項目	-				
1 事業の目的・概要					
<p>令和新時代創造県民運動の展開により、令和新時代を担う若者が主体の活動を広げるとともに、地域づくり団体が取り組む新規・試行的な活動を支援するなどして、令和新時代の新しい活力を創造し、地域の活性化を一層進める。また、活動表彰等により県民の自信につながる機会も設けることを通じて、若者をはじめ全ての県民が、自分の住む地域の魅力を再認識し、ふるさと鳥取に対する自信を醸成する。</p>					
2 事業の内容、実施状況					
(1) 地域づくり活動の支援 8,442千円					
ア 令和新時代創造県民運動推進補助金 (8,014千円)					
県内で自発的に地域をより良くしていこうとする地域住民や活動団体、企業などが取り組む様々な地域づくり活動を支援した。					
区分	対象事業	補助上限 (補助率)	採択/申請件数 補助額		
若者チャレンジ型	若者による新規、試行的な事業 従前の取組を拡充する事業	15万円 (10/10)	7件/7件 1,050,000円		
とっとりドリーム型	クラウドファンディング型ふるさと納税を活用した発展的な取組	200万円 (10/10)	1件/1件 4,693,000円		
スタートアップ型			スタート支援		
スタート支援	新規、試行的な事業 従前の取組を拡充する事業	10万円 (10/10)	24件/33件		
ステップアップ支援	スタート支援の補助を受けた取組に工夫を加えて成長させる事業	30万円 (3/4)	ステップアップ支援 2件/3件 計2,744,320円		
イ 令和新時代創造県民運動推進委員会の運営等 (428千円)					
(2) 地域づくり活動の裾野の拡大 6,378千円					
ア 第3回ととりの魅力発信PR動画コンテスト (295千円)					
最優秀賞1件ほか計3件 (応募：30件 (うち県外4件))					
イ 令和新時代創造県民運動活動表彰 (123千円)					
知事表彰1件ほか計9件 (応募：32件)					
ウ とっとりSDGsアワード(109千円)					
子どもたちが主体となって取り組むSDGsにつながる活動やアイデア、SDGsに資する若者の地域づくりプランを募集した。					
ファーストステップ：小中学生対象、グランプリ1件ほか4件 (応募：96件)					
セカンドステップ：15歳～29歳の若者で構成されたグループ対象、グランプリ1件ほか4件 (応募：27件)					
エ とっとり元気フェス (1,286千円)					
創意工夫しながら元気に取り組んでいる地域づくり活動の好事例の紹介 (とっとり研志塾) や地域の魅力にあふれた映像コンテスト、日本海テレビの「オンガクお嬢」とコラボした、「スクールソングお嬢」を開催。新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインでライブ配信 (1/30) 及びアーカイブ配信 (1/31)					

～2/8) を行った。

オ 令和新時代創造県民運動情報発信事業 (4,565千円)

令和新時代創造県民運動サイト(県のホームページ)において、実践団体に登録した団体が自主事業のPRを行ったほか、各種情報の提供・共有・発信を行った。(とっとり元気フェスチラシ(A4判、約6万部、R4.1.27)、新聞特集記事(日本海新聞全10段、R3.10.30、R4.3.31))、団体の活動紹介記事(日本海新聞約400字程度及び写真1点を16回(R3.4～R4.3))

### 3 事業の成果(改善状況)・課題等

#### (1) 事業目標

第2期鳥取県総合戦略「鳥取県令和新時代創生戦略」(KPI)

令和新時代創造県民運動実践団体登録制度 540団体(令和6年度) (R4.3.31 登録団体: 513団体)

#### (2) 成果及び効果

ア 令和新時代創造県民運動推進補助金

新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、補助事業34件を採択・支援し、新たな地域づくりの機運の醸成につながった。特に、「若者チャレンジ型」では、7件(R2:6件)を採択・支援し、若者が主体の活動が広がった。また、補助金を活用した団体への令和2年度アンケート調査※(回答:27団体、回収率:93%)では、補助事業実施後に何らかの波及効果を得られたと感じている団体が92%(25団体)あるなど、補助金が活動の動機付けや意欲向上につながった。※令和3年度アンケート調査は現在とりまとめ中

イ 地域づくり活動の裾野の拡大

- ・令和新時代創造県民運動実践団体登録制度では、令和新時代創生戦略の令和6年度目標数540団体に向け、新たに26団体の登録があり、堅実に増加した。
- ・令和4年1月30日に開催したとっとり元気フェスでは、ローカルテレビ番組とコラボしたイベントなど、親しみやすい内容を盛り込むとともに、初めてオンラインでユーチューブ配信を行ったことにより、直近の入場者数(R1:約1,500人)を上回る延べ3,446人の閲覧者数を記録し、地域づくり活動に関心が薄い層への訴求につながった。
- ・また「とっとりSDGsアワード」を実施することで、子どもや若者が地域づくりのプランを考えるきっかけづくりとなったほか、受賞したプランに対して人的支援等を行うことで、地域づくり活動への機運が高まった。

#### (3) 課題

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、従来型の地域づくり活動の自粛が相次いだが創意工夫しながら、徐々に活動を再開する団体も増えつつある。コロナ禍により希薄化してしまった人と人とのつながりをリアルでのイベント等の開催により取り戻すとともに、オンラインで開催される取組も引き続き支援していく必要がある。



(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
とっとり県民活動活性化センター事業	58,975	428	0	0	58,547
将来ビジョン	2 つなげる 様々な活動・力をつなげ、結集して、持続可能で、魅力あふれる地域を創る (1) 県民、NPO、企業、市町村等との協働により持続可能な地域が実現				
令和新時代創生戦略	大項目：2 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む 鳥取＋住む 中項目：(2) 人財とっとり 小項目：③女性、高齢者、障がい者など多様な主体が輝く地域づくり SDGsゴール (17 パートナーシップで目標を達成しよう)				
政策項目	-				
1 目的及び事業の実施状況 公益財団法人とっとり県民活動活性化センター（以下「センター」という。）にボランティア、地域づくり、NPO活動の支援業務を委託し、関係機関や行政等と連携しながら、県民による様々な活動の推進を図る。					
2 事業の内容、実施状況					
区分	内 容				
(1) 組織基盤強化支援事業	NPO等の育成・活動基盤の強化を目的として、以下の事業を実施した。				
	ア 専門家派遣事業 NPO等の法人業務や会計等の専門的な相談に対して、専門家 <sup>(※)</sup> を派遣して課題解決を図るとともに、支援のための専門家ネットワーク会議を開催した。(専門家派遣先：10団体) (※) 専門家…税理士、司法書士、行政書士、社会保険労務士、ICTアドバイザー等				
	イ NPO経営実態把握事業 アンケート調査及びヒアリング調査を行い、きめ細やかな相談支援のための基礎資料「NPO経営実態把握資料」を作成した。(アンケート回収：125団体、ヒアリング：30法人)				
	ウ NPO事務力強化事業 団体の基盤強化につながる事務力向上を目的としたセミナーを東・中・西部で各1回開催した。				
	エ 助成金活用促進事業 県内外の助成団体が提供する助成金情報を紹介し、効果的な活用を促す「助成金合同説明会」をオンラインで3回開催した。(うち2回はオンライン開催)				
	オ とっとりSDGs推進補助金交付事業				
	区分	内容	採択数		
	広報活動支援型	地域づくり団体等がSDGsの理念に沿った非営利公益活動を周知するためのパンフレットやホームページ作成に係る経費の助成	7団体		
	研修等支援型	地域づくり団体等が企画するSDGsの理念に沿った研修の実施や全国で開催される研修に参加する経費の助成	4団体		
	若者団体活動支援型	県民の若者を中心とした団体がSDGsの理念に沿った活動を普及する取組に係る経費の助成	1団体		
(2) 地域づくり活動支援の輪を広げる取組	県民の主体的な活動が促進されるよう、支援の輪を広げ、新たな人材を育成する取組を実施した。				
	ア 企業との連携による社会貢献活動の推進 企業や社員による社会貢献活動を促すためのセミナーをオンラインで3回開催した。				
	イ 寄付つき商品開発普及事業 寄付つき商品に取り組みたい企業等と活動団体とをマッチングし、開発支援・広報を実施した。 (マッチング件数：36件、うち新規12件)				
	ウ 社会人・若者ボランティア(プロボノ)推進事業 支援を希望するNPO等と自らのスキルや経験を活かして社会貢献活動を行いたい社会人・若者				

	<p>をマッチングして、プロジェクトを2件実施した。（青少年育成団体のビジョン策定、子ども食堂の事業計画立案、プロボノワーカー計10名が参画。）</p> <p>エ 夏の体験ボランティア事業の実施 夏休み期間を中心として高校生等に地域づくり団体等の活動を体験してもらう「夏の体験ボランティア」を実施した。（申込人数150名、延べ参加人数74名、受入団体6団体）</p> <p>オ 若者向け地域課題ワークショップの開催 地域づくり活動に関する出前講座を公立鳥取環境大学で実施した。</p> <p>カ 地域づくり活動のサポート 地域づくり団体等が開催する研修等への助言、講師としての出講、実行委員会・審査会への参画など、幅広く支援活動を行った。</p>
(3) ネットワークを活用した地域づくり活動の支援	<p>市町村のNPO・地域づくり等の担当者と連携し、ネットワーク会議・交流会や地域課題解決ワークショップを開催し、県内のボランティア活動の情報収集に努め、関係機関との連携を図った。</p> <p>ア ボランティア支援ネットワーク事業 NPO等・市町村とのネットワーク会議、交流会を8市町村と連携して6回開催 （参加市町：鳥取市、八頭町、倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町、琴浦町） ※境港市、伯耆町は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止</p> <p>イ ボランティア支援団体等とのネットワーク構築 ボランティア活動を支援する団体・機関を訪問し、情報共有・連携を図った。（延べ22回）</p>
(4) 相談体制整備・情報発信事業	<p>県民活動に共通する課題に対応するため、きめ細かな相談体制の整備、情報発信等を実施した。</p> <p>ア 相談対応・出前相談事業 常設相談窓口を開設して相談対応（376件）を行ったほか、伴走型個別支援（16団体）や出前相談会（10回、うちオンライン7回、県東・中・西部で各1回）を実施した。</p> <p>イ 情報集積・発信事業 地域づくり活動等の情報を掲載した情報誌「てとり」を年2回、講座や研修等の情報を掲載した機関紙「センター通信」を年4回発行・配布するとともに、ウェブサイトやSNS等により広く県民等へ発信した。</p>

### 3 事業の成果（改善状況）・課題等

#### (1) 事業目標

ボランティア活動、地域づくり活動、NPO活動を総合的に支援するとともに、NPO、行政、企業、大学、自治組織等多様な主体との連携・協働を行うことにより、地域課題の解決を図り、県民の社会参画機会の拡充と持続可能な地域社会づくりを目指す。

#### (2) 成果

- ・県東・中・西部の窓口やオンライン等による各種相談、専門家派遣やプロボノ等による個別支援、団体の活動に寄り添いながら行う伴走支援など、多様なアプローチによる相談・支援活動を進め、支援対象や内容が広がった。
- ・積極的に企業・店舗等に働きかけ、寄付付き商品の開発件数が増加するなど、人材や資金を活動団体に循環させる仕組みの活用が進んだ。
- ・センターの組織体制を強化するため、次長職を新設した。

#### (3) 課題

- ・センターによるこれまでの地域課題解決への取組が県内へ波及し、県内の地域活動団体の新たな活動が更に推進されるよう、事務力向上、情報収集・発信、資金調達など様々なニーズにきめ細やかな支援を引き続き行っていく必要がある。
- ・センターの支援制度や取組内容を広く県民に知っていただき、活用していただけるように、市町村や関係機関等とも連携して、情報発信等に取り組んでいく必要がある。
- ・センターが現場で必要とされている支援活動等を適宜的確に実施できるように、センターの事業内容・組織体制等を継続的に点検していく必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
鳥取県×日本財団共同プロジェクト推進事業	5,872	0	0	5,872	0
将来ビジョン	-				
令和新時代創生戦略	SDGsゴール（17 パートナーシップで目標を達成しよう）				
政策項目	-				
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>平成27年11月18日に「鳥取県×日本財団共同プロジェクト協定」を締結し、「暮らし日本一の鳥取県」の実現を目指して取組を進めてきた共同プロジェクトの合計6年間にわたる取組を再評価し、県民や各団体、市町村が今後の取組へとつなげていくためのフォーラムを開催した。</p> <p>2 事業の実施状況</p> <p>(1) 「豊かさの価値とは」シンポジウム等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日 令和3年5月12日（水）</li> <li>・場 所 とりぎん文化会館 小ホール、第1会議室</li> <li>・内 容 日本財団の木田所長（当時）が鳥取県に暮らして感じた「鳥取県の豊かさ」をまとめて出版された本、「ゆたかさのしてん」も踏まえ、コロナ後の社会を見据えた暮らしを考える「豊かさの価値とは」と題したシンポジウムを開催した。併せて同日の別会場にて共同プロジェクトで取り組んできた障がい者の工賃向上に関するシンポジウムを開催した。</li> </ul> <p>(2) とっとり研志塾フォーラムの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日 令和4年1月30日（日）</li> <li>・場 所 とりぎん文化会館 梨花ホール</li> <li>・内 容 「令和新時代とっとり元気フェス」の開催と併せて、共同プロジェクトに取り組んだ地域づくり活動者や高校生など約30名がオンラインにて意見交換に参加し、お互いの取組の更なる発展について参加者同士が意見交換するフォーラムを開催した。</li> </ul> <p>3 事業の成果（改善状況）・課題等</p> <p>(1) 事業目標</p> <p>「暮らし日本一の鳥取県」につながる地方創生のモデルを創出する。</p> <p>(2) 成果</p> <p>6年間に渡る共同プロジェクトによって、鳥取県に開設された日本財団鳥取事務所（平成28年4月～令和4年3月）と連携し、各市町村・関係機関・民間活動団体・地域住民等との協働により、全国モデルとなる、UDタクシーの導入や共助交通マニュアルの作成、障がい者の工賃向上のモデルケースや、医療的ケア児とその家族の生活支援の拠点づくりなど、様々な事業を展開することができた。</p> <p>また、日本財団によりこの取組を全国へ発信できる書籍として、「みんなでつくる“暮らし日本一”」の出版へとつながった。</p> <p>(3) 課題</p> <p>共同プロジェクトは令和3年度末で終了したが、共同プロジェクトの成果や取組が成功へとつながったプロセスを評価・継承して、県内各地に横展開したり、全国発信へとつなげていく人材育成等の取組や情報発信を継続して行う必要がある。</p>					

## 6 決算資料

## 一般会計（歳入）

（単位：円）

区分	科目	予 算 現 額				調 定 額 A	収入済額 B	不納欠損額 C	収入未済額 A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越財源充当額	計					
歳 入	総務手数料	1,188,000	△594,000	0	594,000	0	0	0	0	
	総務費国庫補助金	1,375,000	△798,000	0	577,000	427,500	427,500	0	0	
	利子及び配当金	1,000	0	0	1,000	632	632	0	0	
	物品売払収入	250,000	0	0	250,000	59,530	59,530	0	0	
	総務費寄附金	16,000,000	△11,307,000	0	4,693,000	4,693,000	4,693,000	0	0	
	雑入	118,000	0	0	118,000	80,705	69,120	3,130	8,455	過年度に係る 収入未済額
	繰越金			(6,626,000) 6,626,000	(6,626,000) 6,626,000	(6,626,000) 6,626,000	(6,626,000) 6,626,000	0	0	
	合 計	18,932,000	△12,699,000	(6,626,000) 6,626,000	(6,626,000) 12,859,000	(6,626,000) 11,887,367	(6,626,000) 11,875,782	3,130	8,455	

## 一般会計（歳出）

（単位：円）

区分	科目	予 算 現 額					決算額 B	決算額の内訳		翌年度 繰越額 C	差引増減額 A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A		本 庁	出納機関			
歳 出	一般管理費	13,263,000	0	0	0	13,263,000	11,056,999	11,056,999	0	0	2,206,001	
	広報費	17,202,000	△1,932,000	0	0	15,270,000	14,198,682	14,198,682	0	0	1,071,318	
	文書費	1,377,000	△234,000	0	0	1,143,000	87,800	87,800	0	0	1,055,200	
	計画調査費	105,280,000	△18,742,000	(6,626,000) 6,626,000	0	(6,626,000) 93,164,000	(5,872,130) 87,192,858	(5,872,130) 83,871,027	3,321,831	0	(753,870) 5,971,142	
	労政総務費	8,574,000	0	0	0	8,574,000	8,574,000	8,574,000	0	0	0	
	合 計	145,696,000	△20,908,000	(6,626,000) 6,626,000	0	(6,626,000) 131,414,000	(5,872,130) 121,110,339	(5,872,130) 117,788,508	3,321,831	0	(753,870) 10,303,661	

## 7 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予 算 現 額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰 越 額	予 備 費 支出及び 流用増減	計 A					
(一般管理費) 県民参画協働課管理 運営費	13,263,000	0	0	0	13,263,000	11,056,999	0	2,206,001	83%	・ 県民参画協働課の予算・決算 業務や連絡調整が必要な業務 を実施した。 ・ 広報課で執行
目 計	13,263,000	0	0	0	13,263,000	11,056,999	0	2,206,001		
(広報費) 総合受付等運営費	8,836,000	0	0	0	8,836,000	8,180,026	0	655,974	93%	・ 総合受付案内窓口において、 県庁を訪れる方に対する所管 所属等の案内、代表電話の取 次ぎ等を実施した。
(主) 県民参画推進 事業	8,366,000	△1,932,000	0	0	6,434,000	6,018,656	0	415,344	94%	・ 主な事業に関する調べのとおり
目 計	17,202,000	△1,932,000	0	0	15,270,000	14,198,682		1,071,318		
(文書費) 情報公開・個人情報 保護制度実施事業	1,377,000	△594,000	0	0	783,000	5,000		778,000	6%	・ 公文書の開示、個人情報の流 出防止対策等を実施した。 ・ 非識別加工情報データ加工の 外部委託がなかったため。
新しい個人情報保護 制度のあり方検討事 業	0	360,000	0	0	360,000	82,800	0	277,200	23%	・ 新しい個人情報保護制度のあ り方について、検討会を2回 開催した。 ・ オンラインで開催し、旅費が 不要となったため。
目 計	1,377,000	△234,000	0	0	1,143,000	87,800		1,055,200		
(計画調査費) (主) 令和新時代創 造県民運動推進事業	34,919,000	△16,202,000	0	0	18,717,000	16,249,717	0	2,467,283	87%	・ 主な事業に関する調べのとおり ・ 資産活用推進課で執行
とっとり県民の日総	459,000	0	0	0	459,000	354,396	0	104,604	77%	・ 学校における一斉取組の実 施、県立施設等の無料開放日

合推進事業											の広報、大型商業施設やスーパーマーケットで「とっとり県民の日」PRイベント等を開催した。
公民連携推進事業	7,876,000	0	0	0	7,876,000	5,742,115	0	2,133,885	73%	・鳥取県公民連携推進事業補助金審査・検証委員会等にて採択された6団体に対し補助を行い、官民協働で計画策定及び事業実施を行った。	
(主) とっとり県民活動活性化センター事業	62,026,000	△2,540,000	0	0	59,486,000	58,974,500	0	511,500	99%	・主な事業に関する調べのとおり	
(主) 鳥取県×日本財団共同プロジェクト推進事業	0	0	(6,626,000) 6,626,000	0	(6,626,000) 6,626,000	(5,872,130) 5,872,130	0	(753,870) 753,870	89%	・主な事業に関する調べのとおり	
目 計	105,280,000	△18,742,000	(6,626,000) 6,626,000	0	(6,626,000) 93,164,000	(5,872,130) 87,192,858		(753,870) 5,971,142			
(労政総務費) シルバー人材センター活性化事業	8,574,000	0	0	0	8,574,000	8,574,000	0	0	100%	・(公社)鳥取県シルバー人材センター連合会の各種事業及び運営経費に対して補助を行った。	
目 計	8,574,000	0	0	0	8,574,000	8,574,000	0	0			
合 計	145,696,000	△20,908,000	(6,626,000) 6,626,000	0	(6,626,000) 131,414,000	(5,872,130) 121,110,339	0	(753,870) 10,303,661			

8 予備費の充用調べ

該当なし

9 現金の取扱状況

(1) 現金取扱状況

収入科目 (節)	収入済額 (円)	件数 (件)	備 考
物品売払収入	84,630	102	刊行物売払収入 (県民参画協働課)、ピンバッジ売払収入 (広報課)
雑 入	68,170	21	公文書・個人情報等複写代金
合 計	152,800	123	

(2) つり銭の状況

(令和4年3月31日現在)

つり銭の有無	有	つり銭の額 (円)	17,800

10 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア～ケ

該当なし

コ 出資による権利

(令和4年3月31日現在)

区 分	前年度末 (数量、金額)	本年度中		本年度末 (数量、金額)	法 人 名	備 考
		増	減			
出 え ん 金	円 3,000,000	円 0	円 0	円 3,000,000	公益財団法人と っとり県民活動 活性化センター	
合 計	3,000,000	0	0	3,000,000		

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有 ・  無

イ タクシーチケットの保有状況

(令和4年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末未使用枚数
	購 入 枚 数	使用枚数及び金額	
28 枚	0 枚	2 枚 1,640円	26枚

(3) 基 金

(令和4年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		増	減		
鳥取元気づく り推進基金	円 62,895,766	円 10,000,000	円 0	円 72,895,766	
合 計	62,895,766	10,000,000	0	72,895,766	

(4) 債 権

該 当 な し

1 1 財産の貸付け及び使用許可調べ

該 当 な し

1 2 借受不動産明細調べ

該 当 な し

1 3 職員駐車場の管理状況調べ

該 当 な し

1 4 寄附物件の受納状況調べ

該 当 な し

1 5 備品の処分状況調べ

該 当 な し

1 6 貸付金等状況調べ

該 当 な し

○ 意見、要望等

特になし